

2016年（平成28）年7月22日

カーテクノロジー革新センター

「自動車工学基礎講座 2016」を開催しました

【日 時】（前期）平成28年6月14日（火）15日（水）9:00～17:30

（後期）平成28年7月20日（水）21日（木）9:00～17:10

【会 場】 広島県情報プラザ

【受講者数】 ■6/13 91名 ■6/14 94名 ■7/20 84名 ■7/21 87名



講義風景



貴島教授による特別講演



振動騒音計測デモ



ポスターセッション



エンジンカットモデルなどの部品展示見学



交流会

昨年に続き、「自動車工学基礎講座 2016」を（公社）自動車技術会との共催にて開催し、前期・後期を通じ4日間のコースに県内企業・大学から多くの方が参加されました。自動車技術全体を基礎的かつ体系的に習得することにより、自動車全体システムを見渡せる幅広い視野と実践的スキルを身につけた人材の育成をめざしています。

今年度は講義だけでなく、より理解を深めていただけるよう、いくつかの企画を加え、講座の充実を図りました。冒頭に、特別講演として、元マツダのロードスター開発主査である貴島教授（山口東京理科大学）から、「感性豊かなものづくり&技術者の葛藤」と題した講演をいただき、続いて各専門分野の講師陣から講義を受けました。

会場にはエンジンのカットモデルなどの部品を多数展示し、受講者は部品に実際に触れながら、その構造・しくみを確認していました。また、全国の大学・研究機関の協力で、研究成果ポスター展示を行い、技術情報の収集に役立てていただきました。交流会では受講者どうし、講師の先生方とのつながり形成の場として活用いただいております。

【受講者の声】

「車について知りたかったので、このような充実した講座を受講でき良かった。仕事に活かしたい。」（講座）

「もう一度乗りたくなる楽しいクルマづくりはユーザー目線でものづくりを行う事に、講演テーマを感じた。一流の製品にふれる事も大切だと感じた。」（特別講演）

「実際の製品を見ることでプロセスが分かり、参考になった。」（カットモデル展示）

「自動車の仕組みについて、映像で見る事ができたので、理解しやすかった。」（DVD 上映）

「様々な企業の方から貴重な意見、情報をいただく事ができた。」（交流会）